

# ドイツ・ヨーロッパインカム オープン

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第81期（決算日：2022年11月15日）

第82期（決算日：2023年2月15日）

作成対象期間（2022年8月16日～2023年2月15日）

第82期末（2023年2月15日）	
基準価額	7,925円
純資産総額	875百万円
第81期～第82期 （2022年8月16日～2023年2月15日）	
騰落率	△3.2%
分配金合計	80円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ドイツ・ヨーロッパインカム オープン」は、2023年2月15日に第82期の決算を行いました。当ファンドは、欧州諸国の現地通貨建債券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「投資信託」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社  
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

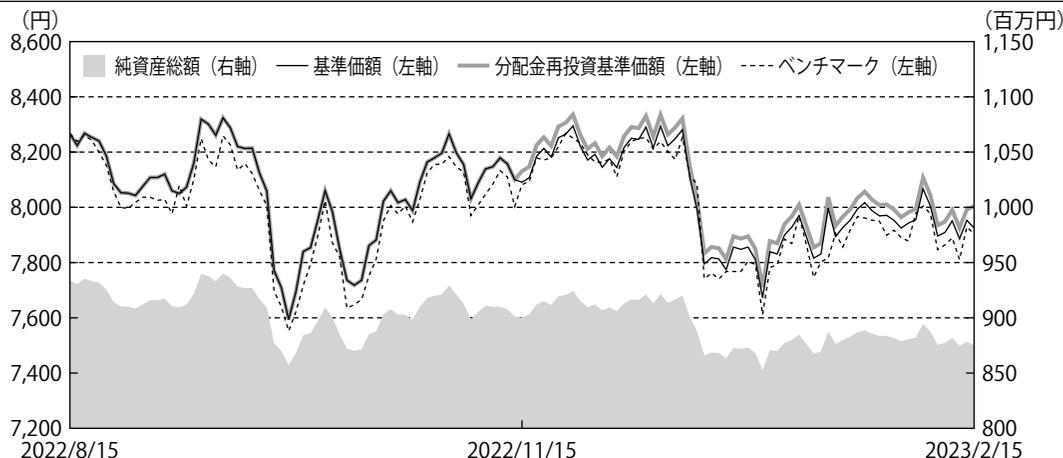
<https://funds.dws.com/jp/>

\*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### ■基準価額等の推移について

(2022年8月16日～2023年2月15日)



※ベンチマーク：ブルームバーグ汎欧州総合インデックス  
(円ベース ヘッジなし)

※ベンチマークは作成期首を基準価額と同じ値として表示  
しております。

第81期首：8,266円

第82期末：7,925円（既払分配金（税込み）：80円）

騰落率：△3.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。欧州中央銀行（ECB）が急速に利上げを進めたことを背景にドイツの10年国債利回り（長期金利\*）が上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。一方で、ユーロが対円で上昇したことは、基準価額のプラス要因となりました。

\*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第81期～第82期 2022年8月16日～2023年2月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	49円	0.610%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は8,028円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.305)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.277)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	( 2)	(0.028)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	( 0)	(0.002)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	7	0.081	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	( 2)	(0.027)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用・印刷費用等)	( 4)	(0.053)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	56	0.693	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

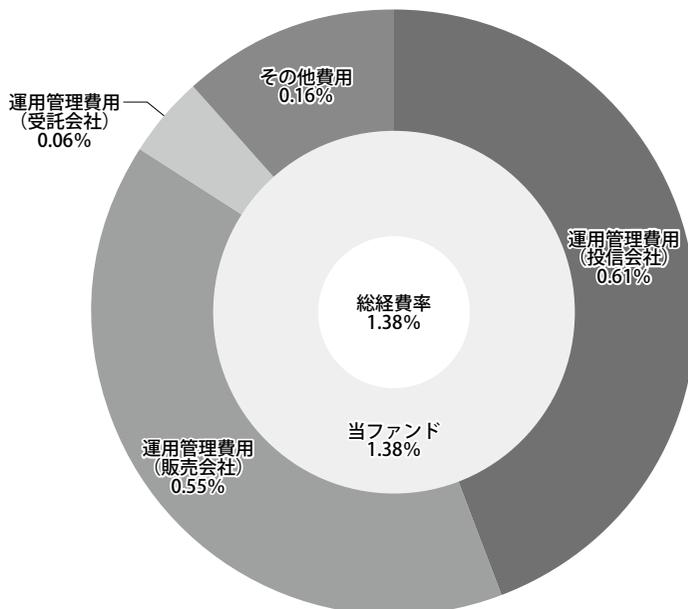
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

**(参考情報)**

○**総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

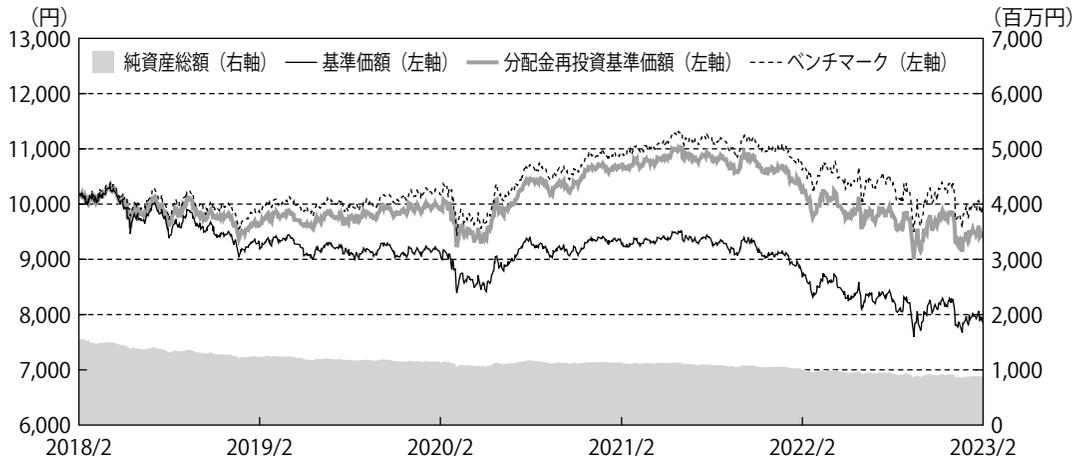
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年2月15日～2023年2月15日)



※ベンチマーク：ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円ベース ヘッジなし）  
 ※ベンチマークは2018年2月15日の値を基準価額と同じ値として表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2018年2月15日	2019年2月15日	2020年2月17日	2021年2月15日	2022年2月15日	2023年2月15日
基準価額	(円)	10,190	9,189	9,007	9,278	8,676	7,925
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	440	440	440	160	160
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△5.6	2.9	8.1	△4.8	△6.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△3.3	3.2	7.2	△2.6	△6.4
純資産総額	(百万円)	1,553	1,224	1,129	1,119	997	875

### ●ベンチマークに関して

「ブルームバーグ®」および「ブルームバーグ汎欧州総合インデックス」は、Bloomberg Finance L.P.、および同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはドイツ・アセット・マネジメント株式会社とは提携しておらず、また、同社が運用する商品等を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、同社が運用する商品等に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

## ■投資環境について

(2022年8月16日～2023年2月15日)

当作成期では、主要な指標となるドイツの長期金利は上昇しました。歴史的な高水準となるインフレ率を抑制するためECBが急速に利上げを進めたことを背景に、長期金利は上昇しました。周縁国や東欧諸国の国債利回りも、ECBの利上げによる影響が警戒され上昇しました。社債市場では、利上げによる景気減速懸念は続くものの、欧州のエネルギー不足に対する警戒感が和らいだこと等から、スプレッド\*は縮小しました。一方で、金利上昇を受け社債の価格は下落しました。為替市場では、ECBが利上げを継続したことを背景にユーロは対円で上昇しました。

## ■当該投資信託のポートフォリオについて

(2022年8月16日～2023年2月15日)

### (当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

### (ドイツ・ヨーロッパインカムオープンマザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

金利戦略については、高インフレを抑制するため欧米の中央銀行が利上げを継続するとみて、デュレーション\*はベンチマークに対して中立近辺から短めを基本として調整しました。資産別配分については、欧米の利上げ観測から、国債はベンチマークに対してやや少なめでウェイトを調整し、社債に関しては景気動向や地政学リスクなどを踏まえベンチマークに対して機動的に調整しました。国別の配分に関しては、相対的に割安と見ていた欧州周縁国や東欧諸国等のオーバーウェイトを基本としました。

\*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

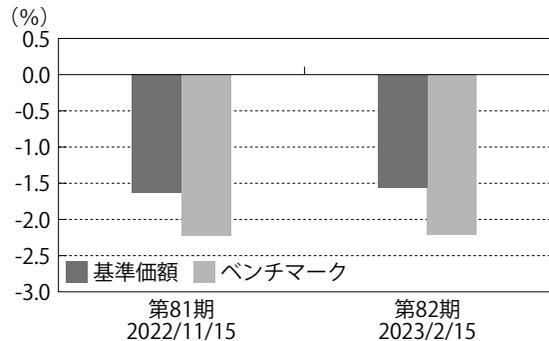
\*デュレーション：金利変動に対する債券価格の変動性を示します。一般的にデュレーションが長いほど金利変動に対する価格の変動が大きくなります。

(2022年8月16日～2023年2月15日)

## ■ベンチマークとの差異について

ベンチマークであるブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円ベース ヘッジなし）は4.4%下落し、当ファンドのリターンはベンチマークを上回りました。金利が上昇したことから、デュレーションを短めとした金利戦略効果に加え、東欧や周縁国をオーバーウェイトとした銘柄選択効果がプラスとなりました。

### ◆基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



## ■分配金について

基準価額水準等を勘案して、第81期、第82期とも40円（税引前）といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

### 【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	第81期	第82期
	2022年8月16日～2022年11月15日	2022年11月16日～2023年2月15日
当期分配金	40円	40円
（対基準価額比率）	0.492%	0.502%
当期の収益	9	12
当期の収益以外	30	27
翌期繰越分配対象額	760	732

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

### (ドイツ・ヨーロッパインカムオープンマザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ECBは利上げ継続を示唆していることから、金利には引き続き上昇圧力がかかると予想されます。一方で、欧州におけるエネルギー懸念の緩和やインフレ鈍化を受け、欧州でも先行きの利上げペース減速に対する期待が広がりつつあることは、金利上昇を抑制する要因と見られます。社債市場については、インフレ動向や主要国の金融政策を巡る憶測、地政学リスク等は引き続き変動要因とみられます。もっとも、投資家の利回りを求める需要は市場の支えとなることが期待されます。今後の運用方針としましては、ポートフォリオのデュレーションについてはベンチマーク並みから短めで調整していく方針です。資産別の投資戦略や為替戦略等については、機動的に投資を行う予定です。

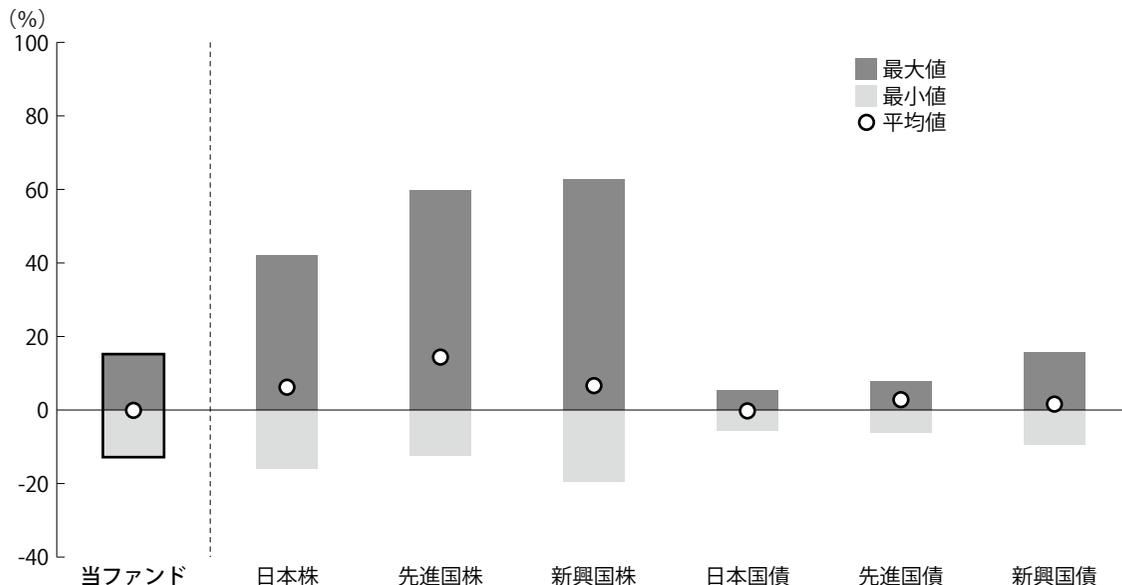
## お知らせ

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	ドイツ・ヨーロッパ インカム オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、直接債券に投資する場合があります。
	ドイツ・ヨーロッパ インカム オープン マザーファンド	欧州諸国の現地通貨建債券を主要投資対象とします。
運用方法	主要投資対象国は、ユーロ圏、非ユーロ圏を合わせた欧州諸国とします。公社債への投資は、原則としてB格相当以上の債券とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	<p>年4回の毎決算時(原則として2月、5月、8月、11月の各15日。ただし、同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定致します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2018年2月末～2023年1月末)



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%) )

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	△0.1	6.2	14.4	6.6	△0.2	2.8	1.6
最大値	15.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△12.8	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

\*2018年2月～2023年1月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各資産クラスの指数について

- T O P I X（東証株価指数）の指数値及びT O P I Xにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等T O P I Xに関するすべての権利・ノウハウ及びT O P I Xにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、T O P I Xの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I に帰属します。また、M S C I は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- N O M U R A - B P I は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「N F R C」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利はN F R C に帰属します。なお、N F R C はN O M U R A - B P I を用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

## ファンドデータ

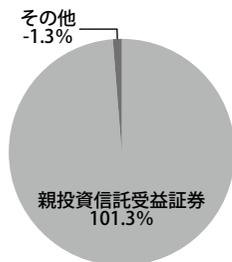
### ■当ファンドの組入資産の内容

#### ◆組入上位ファンド

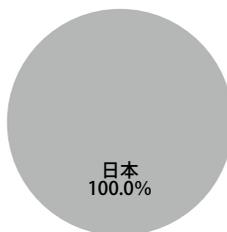
項	目	第82期末
		2023年2月15日
ドイチェ・ヨーロッパインカム オープン マザーファンド		101.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

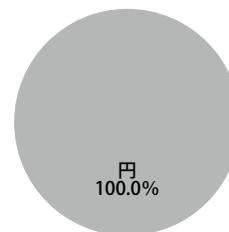
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ■純資産等

項	目	第81期末	第82期末
		2022年11月15日	2023年2月15日
純	資	900,085,970円	875,255,996円
受	益	1,112,400,268口	1,104,377,968口
1	万	8,091円	7,925円
	口		
	当		
	た		
	り		
	基		
	準		
	価		
	額		

当作成期中における追加設定元本額は6,634,043円、同解約元本額は31,859,471円です。

## ■組入上位ファンドの概要

ドイツ・ヨーロッパインカム オープン マザーファンド (2021年8月17日～2022年8月15日)

### ◆基準価額の推移



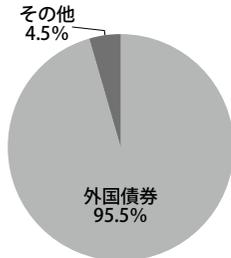
※ベンチマーク：ブルームバーグ汎欧州総合インデックス  
(円ベース ヘッジなし)  
※ベンチマークは期首を基準価額と同じ値として表示しております。

### ◆上位10銘柄

	銘柄名	通貨	国 (地域)	比率
1	DBR 2.5% 07/04/44	ユーロ	ドイツ	2.9%
2	SPGB 4.2% 01/31/37	ユーロ	スペイン	2.2%
3	BTPS 5% 08/01/39	ユーロ	イタリア	2.0%
4	UKT 4.25% 12/07/27	英ポンド	イギリス	1.9%
5	FRTR 4% 10/25/38	ユーロ	フランス	1.7%
6	REPHUN 1.75% 10/10/27	ユーロ	ハンガリー	1.7%
7	DBR 3.25% 07/04/42	ユーロ	ドイツ	1.6%
8	FRTR 0% 03/25/24	ユーロ	フランス	1.6%
9	UKT 2.25% 09/07/23	英ポンド	イギリス	1.5%
10	UKT 1.75% 09/07/37	英ポンド	イギリス	1.4%
組入銘柄数			122銘柄	

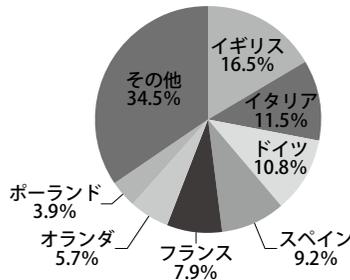
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

### ◆資産別配分

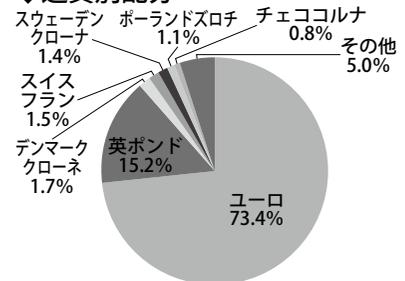


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



◆ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2021年8月17日～2022年8月15日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	1円 ( 1 )	0.003% (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	18 (12)	0.072 (0.048)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資 産の移転等に要する費用
(そ の 他)	( 6 )	(0.024)	証券投資信託管理事務等に係る費用
合 計	19	0.075	

期中の平均基準価額は24,512円です

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料、(b) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) (b) その他費用（その他）にはマイナス金利に係る費用等を含みます。



**ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社**  
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

<お問い合わせ先>

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時

<https://funds.dws.com/jp/>

\*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。